

肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画（素案） 【概要版】

**肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会
令和7年4月**

肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画（素案）【概要版】

1 計画作成の趣旨及び位置付け

肥薩おれんじ鉄道は、平成16年3月の九州新幹線の部分開業（新八代～鹿児島中央間）を契機に、並行在来線として開業し、20年余にわたり、地域住民の日常生活を支える重要な交通手段であるとともに、基幹的物流ルートを形成するなど極めて重要な役割を担っている。

しかしながら、沿線住民の人口減少、少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症を契機とした行動変容等の影響等により、輸送人員（利用者）は平成16年度開業時の年間1,881千人をピークに令和5年度には約1,021千人に、旅客運輸収入は平成16年度の524百万円をピークに令和5年度は345百万円まで減少しており、厳しい経営状況となっている。

また、鉄道施設の老朽化や近年の急激な物価高騰などにより、経営状況の更なる悪化が懸念されている。

肥薩おれんじ鉄道が将来にわたり持続的に運営を行うためには、行政、鉄道事業者、沿線住民、利用者及び関係団体等が一体となり同鉄道の維持・確保・改善に取り組む必要があり、肥薩おれんじ鉄道の目指す姿や取り組むべき施策の方向性を示し、必要な施策や事業等を着実に実行していくため、肥薩おれんじ鉄道を中心とした沿線地域における地域公共交通のマスタープランとして本計画を策定した。

2 計画の対象区域

肥薩おれんじ鉄道沿線地域（八代市、水俣市、芦北町、津奈木町の全域）
（薩摩川内市、出水市、阿久根市の全域）

3 計画の期間

令和7年度～令和17年度【11年間】

4 基本的な方針

【目指す姿】

肥薩おれんじ鉄道が存在することに地域住民がアドバンテージを感じ、地域にとって必要とされる、肥薩おれんじ鉄道を軸とした地域公共交通ネットワークの実現

- ①地域の移動を支える。
- ②地域の経済・産業振興を支える。
- ③肥薩おれんじ鉄道が持続的に運行する。

5 主な計画目標・KPI

【目指す姿・目標】

《目指す姿》
地域の移動を支える

《目標》
・利用しやすい運行間隔
・利用しやすいサービス

《目指す姿》
地域の経済・産業振興を支える

《目標》
・訪れたいくなる仕掛け・地域づくり
・貨物輸送量の増加

《目指す姿》
肥薩おれんじ鉄道が持続的に運行する

《目標》
・おれんじ鉄道の経営安定化
・マイレール意識の醸成

【KPI】

定期列車運行本数
⇒減便前（R7.1）以上

運転士数⇒定期列車減便解消及びおれんじ食堂・臨時列車の運行再開が可能な人数以上

キャッシュレス決済の拡大
⇒全車両又は全駅に導入

定期外利用者数
⇒現状の約1.5倍に増加

企画切符⇒商業施設・観光施設の割引等をセットにした企画切符の造成

貨客混載⇒貨客混載の実施

自治体負担額⇒国の補助制度を積極的に活用し行政負担の低減を目指す

営業収入（旅客運輸収入＋鉄道雑収入）
⇒現状より増加

子供（小学生以下）の利用者数
⇒現状の約1.5倍に増加

パートナーズクラブ会員数
⇒現状の約1.5倍に増加

肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画（素案）【概要版】

6 適材・適所の施策・事業（アクション）

基本方針	実施主体	実施施策
【基本方針1】 ・利用しやすい運行間隔の実現	肥薩おれんじ鉄道，自治体	施策1-1 ▶ 運転士の確保による便数の維持・改善 施策1-2 ▶ 交通事業者が連携した運賃・ダイヤ等の設定による運行の効率化
	市町，肥薩おれんじ鉄道，交通事業者，県	
【基本方針2】 ・目的地までのスムーズな接続の実現	肥薩おれんじ鉄道，交通事業者，自治体	施策2-1 ▶ 多様な関係者の参画による二次交通の接続改善
【基本方針3】 ・利用しやすいサービス・施設の実現	肥薩おれんじ鉄道，自治体，交通事業者	施策3-1 ▶ サービスの改善による利便性の向上 施策3-2 ▶ 駅の施設・設備等の改善による利便性の向上
	肥薩おれんじ鉄道，自治体	
【基本方針4】 ・駅を核としたまちづくり	肥薩おれんじ鉄道，市町	施策4-1 ▶ 他分野機能・拠点集約による駅の賑わい創出
【基本方針5】 ・訪れたいくなる仕掛け・地域づくり	肥薩おれんじ鉄道，観光・商業，自治体，促進協議会	施策5-1 ▶ 沿線一体となった地域資源の磨き上げ・PR 施策5-2 ▶ お出かけ先と連携した交通と他事業の相互利用
【基本方針6】 ・貨物輸送量の増加	肥薩おれんじ鉄道，商業，飲食・一次産品・特産品，自治体	施策6-1 ▶ 貨客混載による人流・物流の一体化 施策6-2 ▶ 鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの促進
	自治体，JR貨物，運送事業者等	
【基本方針7】 ・安全・安心輸送を確保するための施設・設備の整備	肥薩おれんじ鉄道，自治体	施策7-1 ▶ 老朽化設備の更新・機能向上 施策7-2 ▶ 鉄道事業再構築実施計画の策定等
	自治体，肥薩おれんじ鉄道	
【基本方針8】 ・肥薩おれんじ鉄道の経営安定化	肥薩おれんじ鉄道	施策8-1 ▶ 経費の節減等
【基本方針9】 ・マイレール意識の醸成	肥薩おれんじ鉄道，自治体	施策9-1 ▶ 肥薩おれんじ鉄道の利用促進 施策9-2 ▶ 住民が肥薩おれんじ鉄道に親しむ仕組みづくり
	肥薩おれんじ鉄道，自治体，促進協議会	

肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画（素案）【概要版】

7 具体的なPDCAスケジュール

- ▶ 地域公共交通計画の実行力を高めるため、少なくとも年2回（6月、12月）は法定協議会を開催し、モニタリングや評価を実施する。
- ▶ 両県の地域公共交通協議会においても評価を実施するとともに、法定協議会開催前に幹事会を開催し段階的な議論を行うことで円滑な合意形成を図る。
- ▶ このサイクルを計画終了年度である令和17年度まで継続的に実施し、本計画の取組状況やその効果の確認及び評価を行い、必要に応じ見直しを行うこととする。

PDCAスケジュール

	R年度（計画初年度）												R+1年度												R+2年度				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
協議会			協議会						協議会						協議会												協議会		
幹事会	定期的・継続的な目標と実態の検証																												
地域公共交通計画			当該年度（R年度） 施策検討・決定			次年度（R+1年度） 予算要求			中間評価（R年度施策）						①前年度評価（R年度施策） ②次年度（R+2）施策検討 ③両県の地域公共交通協議会による評価				次年度（R+2年度） 予算要求			中間評価（R+1年度施策）						両県の地域公共交通協議会による評価	前年度評価（R+1年度施策）
PDCAスケジュール等						計画認定申請			大臣認定						補助金交付申請							自己評価						補助金交付申請	